



株式会社いつつ

〒650-0012

兵庫県神戸市中央区北長狭通4-4-18
富士信ビル5階F-1号

TEL 078-599-5081

URL <https://www.i-tsu-tsu.co.jp/>

公式WEBサイト



学べる将棋のことばッジ

全50種

将棋のことばをいっぱい覚えて強くなろう!!



25



26



28



29



31



32



34



35



37



38



40



41



43



44



46



47



27



30



33



36



39



42



45



48



49



50



01



04



07



10



13



16



19



22



02



05



08



11



14



17



20



23



03



06



09



12



15



18



21



24



子どもたちに大人気!!

いろんな将棋のことばを可愛いイラストの缶バッジにした「学べる将棋のことばッジ(全50種)」
将棋のことばには上達のヒントがたくさんあります。
「ことばッジをいっぱい集めて、たくさん将棋の言葉を覚えてもらいたい」そんな思いを込めて作りました。

一覧表の使い方

そのまま眺めてもお楽しみいただけますが、表面の白い点線に添って切ると単語帳のようにお使いいただくこともできます。毎日くり返し眺めて読んで、将棋のことばをたくさん覚えましょう。

いつつオンラインショップにて販売中!!

<https://i-tsu-tsu.shop-pro.jp/>

将棋教室・イベント主催者様へ

まとめてご購入いただけますと、お安くご提供いたします。将棋教室や将棋大会、将棋イベントの景品としておすすめです。

ご注文はお電話にて ☎ 042-310-9151

単品



ランダム30種



50種全部入り



03 頭金

よく出てくる詰みの形の一つです。相手の玉の真上に金を置いて詰ませます。缶バッジには玉の頭の上に、金ならぬ金魚がいますね。

06 あひる囲い

玉・金・銀の配置があひるの両足に似ていることから、このような名前がつけました。かんたんに作れる形なので、早い戦いに向いています。

09 ちょんまげ美濃

普通的美濃囲いから、玉の上にある歩が一つ上がった形をちょんまげ美濃といいます。玉の頭の歩兵だけぴょんと一つ飛び出しているのがちょんまげみたいですよ。

12 遠見の角

自陣に角を打って敵陣を攻めることを遠見の角といいます。遠くからこっそり敵陣をねらうさまは、まるでスナイパーのようです。

15 ちどり銀

酔っぱらった人の足元がふらふらになることを千鳥足といいます。同じように銀がふらふらと色んな方向に動く様子を千鳥銀といいます。

18 両取り

相手の駒を2つ以上同時にねらうことができる状態をいいます。特に、大駒を使うと両取りが成功しやすいですね。

21 いちご囲い

いちごの種は実の外側にありますよね。いちご囲いは「玉」という果実の外側に、金銀の種がついていることからその名前がつけました。かわいいうちの囲いですね。

24 銀冠

玉の上に「銀」が冠のように乗っている様子からこの名前がつけました。缶バッジでは、「銀」が自ら冠をかぶって銀冠となっています。

02 持ち駒

実戦で相手の駒を取り、自分のものになった駒。持ち駒は自分たちの戦力として使ってはじめてその力をはっきりします。ため込まないようにしましょう。

05 マムシのと金

マムシはこわいへびです。と金もマムシと同じとてもこわい駒のため、このように呼ばれています。と金はなるべく作らせないように気をつけましょう。

08 浮き飛車

自分の飛車を中段に配置した状態を浮き飛車といいます。居飛車の相掛かりでよく現れます。ふわふわしていて気持ち良さそうな名前ですね。

11 入玉

自分の玉が相手の陣地に入ることを、入玉といいます。相手の陣地に入るのは危険なようですが意外に穴場で、入玉するとなかなか捕まらないことも多いです。

14 送りの手筋

相手の玉にタダで取られるマスにあえて持ち駒を打ち、取らせることで玉と守り駒を引きはなすおとり作戦です。飛車とセットで使うことが多いです。

17 ダンスの歩

たくさんの歩を使い、相手の金や銀を意のままに移動させる技が、駒がおどっているように見えることからこの名前がつけました。みんなでおどれば楽しいね!

20 ひねり飛車

右辺にいた飛車を、左辺にひねるようにして動かす戦法のことで。機動力に優れていて、速攻を仕掛けることができる攻撃的な戦法です。

23 金無双

相振り飛車戦でよく用いられる囲いの1つです。横並びの2枚の金が強固なバリケードとなり、がっしりと王様を守っていることから、このかっこいい名前がつけました。

01 高飛車

飛車を高い位置に置いて戦う指し方のことをいいます。飛車が敵陣を高い位置から威圧する様子が"えっへん"といばる態度を表す日本語としても使われています。

04 袖飛車

2筋にいる飛車を一マスだけ左に動かして、3筋で使う技のことで。衣服の一部が名前になっているのは将棋の言葉ではめずらしいですね。

07 かまぼこ囲い

かまぼこのように、金銀がぴっちり玉にくっついている様子から、このような名前がつけました。かまぼこと同じ歯ごたえのあるかたさを誇ります。

10 ゴキゲン中飛車

この戦法を作った人が、いつも明るくてニコニコされているため、このような名前がつけました。みなさんもこの戦法を指してゴキゲンになってください。

13 底歩

自陣の下段に歩を打つことを、底歩といいます。受けるときに効果のある手筋です。金の下に打つことも多く「金底の歩、岩よりかたし」という格言もあります。

16 田楽刺し

香車はまっすぐ前に進みます。その動きを串、タテ方向にならんだ相手の駒は田楽と見立てます。田楽刺しのように、一度に複数の相手の駒をねらいましょう。

19 馬の守りは金銀3枚

角が成った駒「馬」はとても強く、守りにも大かつやくします。馬が玉の守りにつくとそのパワーはなんと金銀3枚分!!玉のたのもしいボディガードになります。

22 地下鉄飛車

端を攻める戦法です。飛車の定位置は下から二段目ですが、それよりも低い位置で動くため「地下鉄」という名前がつけました。

27 UFO銀

相掛かりのときに登場する戦法です。銀の3八～2七～3六と上がる動きが、UFOのように左右にゆれながら上がる様子に似ていることからこの名前がつけました。

30 遊び駒

攻めにも守りにも役に立っていない駒のことをいいます。盤上のニートくんです。

33 飛車

言わずと知れた将棋の駒の種類の一つ。子どもたちにも大人気ですよ。読んで字のごとく、飛ぶ車をイメージしてみました。

36 垂れ歩

持ち駒の歩を、と金が作れる場所に打つ技のことで。敵陣に歩を垂れ下げておくことで、相手は大いにプレッシャーを感じることでしょう。

39 目から火の出る王手飛車

出現したときのインパクトがとても大きいため「目から火の出る」という表現がつけました。

42 二段ロケット

飛と香を縦方向に重ねて打つことを、ロケットと表現することがあります。前に進める駒を2枚重ねるとパワーはばつぐん!相手の陣地に向かってロケット発射!!

45 舟囲い

金銀の場所が舟のような形をしていることから、この名前がつけました。金銀の舟に乗っている玉は、何だか幸せそうですね。

48・49・50 こま柄

いつつのオリジナル駒柄です。きいろ・びんぐ・あおの三色があります。

26 王手は追う手

将棋で勝つためには王手は必要ですが、むやみに追うとかえって相手の王様をにがしてしまいます。好きな人を追いかけてすぎると相手に逃げられやすいのと似ています。

29 頓死

将棋で逃げ方や受け方を間違えて詰まされることを指します。残念!!

32 ふんどしの桂

桂馬は利きが左右両方向にあるため、両取りをねらいやすい駒です。桂馬で両取りをねらったとき、駒の配置がふんどしの形に似ているためこう呼ばれています。

35 一間龍

相手の玉から縦、または横の1マスあけたところに龍を接近させる有力な寄せの手筋です。特に、持ち駒の金と連動させると強い力をはっきりします。

38 幽霊角

振り飛車戦法で使う裏技です。自分の角をあえて端の方から、ひょっこりと出す様子が、オバケが人をおどろかす動きに似ているため、このような名前がつけました。

41 早石田

「石田流」という形を、インスタントで作る戦法の名前です。お手軽に作れて素早く攻めることができるので、初心者にはオススメの戦法ですよ。

44 矢倉囲い

金銀をもらい上げてお城を作る様子から、このような名前がつけました。上からの攻めにピカイチの強さをはっきりします。

47 指し手

かっこよく将棋を指す方法は…
人差し指と中指と薬指で駒を持ち上げる→親指でおさえて中指と人差し指2本に持ちかえる→指す!!

25 壁駒

自分の駒が邪魔をしてその場所がふさがっている状況を「壁」と表現することがあります。銀が壁駒になることも多く、その場合は「壁銀」といいます。

28 腰掛け銀

将棋の戦法の1つです。先手が5六、後手が5四と真ん中の歩の上に銀を構える様子が「よっこいしょ」と腰をかける仕草に似ているため、このような名前がつけました。

31 助からないと思っても助がっている

崖っぷちにたたずむ王様ですが、後ろを振り返れば道がひらけているかもしれないという意味です。最後まであきらめないで希望を持って戦いましょう。

34 待ち駒

相手の王様のにげ道を予想して、あらかじめそこに駒を配置しておくことです。相手の玉がこちらに逃げてきたら、えいっ!とねらっていきましょう。

37 ダイヤモンド美濃

金銀をダイヤの形のように配置する美濃囲いのことを指します。文字通り、ダイヤモンドのようなかたさをほこります。ぜひ、プロポーズにご利用くださいませ。

40 王より飛車を可愛いがり

強い駒で人気のある「飛車」を大事にしすぎて、自分の「王」を取られてしまったら将棋は負けです。飛車よりも自分の「王」を大切にあげましょう。

43 穴熊

玉が冬眠した熊のように見えることから、このような名前がつけました。王手が掛からないため、とてもかたい囲いです。

46 力二囲い

玉がカニ歩きをするような動きをするため、このような名前がつけました。上からの攻めに強く、横からの攻めには意外ともろいという弱点があります。